

令和4年台風第14号、令和4年台風第15号による暴風、大雨等について
～『災害をもたらした気象事例』に資料を掲載しました～

令和4年台風第14号、令和4年台風第15号による暴風、大雨等に関する資料
をとりまとめました。

気象庁では、大きな被害をもたらした気象事例や社会的な関心・影響が高い気象事例
について、気象の状況を取りまとめて『災害をもたらした気象事例』として、ホームペ
ージで公表しています。

令和4年9月17日から9月20日にかけて、台風第14号の影響で九州を中心に西日
本から北日本の広い範囲で暴風、海では猛烈なしけや大しけとなりました。また、九州
や四国地方では大雨となり、期間の総降水量は複数の地点で9月の1か月の平年値の2
倍前後となりました。

令和4年9月22日から9月24日にかけては、台風第15号の影響で東日本太平洋側
を中心に大雨となり、静岡県や愛知県では猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、線状降水
帯が発生するなど記録的な大雨となりました。

このことから、当時の状況に関する資料をとりまとめ、『災害をもたらした気象事例』
に掲載しました。

詳細は各事例をご覧ください。

<災害をもたらした気象事例>（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/index.html>

問合せ先：大気海洋部 気象リスク対策課 牛島、宮崎

電話 03-6758-3900（内線 4256、4257）